

を要することから事業費、維持管理費、利用者数など費用対効果や財政状況等を勘案しながら検討していきたいと考えている。

### 市民の会

#### 地域福祉・医療行政

**議員** 長崎県済生会病院の建設計画について伺いたい。

**保健部長** 長崎県済生会病院の建設工事のスケジュールについては、予定ではあるが、平成20年の開院を目標にしている。ちなみに病院への進入路として予定している片淵中学校跡地と県道を結ぶ橋梁工事については、関係機関との協議も一定整い、早ければ10月から着工可能と聞き及んでいる。

同院の移転新築については、東部地区の中核病院として、片淵中学校跡地に建設することであるため、本市としても地域医療向上のため、地元自治会とできる限り協力していきたい。

#### 委員会審査の主な内容

各常任委員会及び地域振興特別委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

#### 総務委員会

国土施策創発調査費など平成17年度長崎市一般会計補正予算(第3号)を可決

総務費において、国の委託を受け、交流人口拡大のための方策の検討を行うための国土施策創発調査費が計上さ

れていることから、同調査の推進体制及び調査結果に基づくその後の取り組みについての考え方などについて慎重に調査しました。

委員会では、住民基本台帳ネットワークシステム管理運営費の歳出に見合う歳入部分については認められないとする反対意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

#### 厚生委員会

平成17年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)を可決

本補正予算は、介護保険事業特別会計に、新たに介護サービス事業勘定を設けるとともに、琴海町との合併に係る経費や本年10月から実施される介護保険制度改正に伴う経費などを補正しようとするものです。

委員会では、同制度の改正による利用者負担額への影響などについて、慎重に審査しました。

その結果、ホテルコストという名目で施設入所者に新たな負担を強いることについて同意できないとの反対意見が出されましたが、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

#### 文教経済委員会

ハイビスカス等生産事業費など平成17年度一般会計補正予算(第3号)を可決

農林水産事業費において、ハイビスカス等生産事業費が計上されていることから、出荷予定である平成19年度以降の収支等の計画、同事業の事業主体及

び管理委託の方法、産炭地域活性化基金助成金の申請内容、地元雇用の人数、旧高島町の退職職員を雇用する考えの有無、同事業の実施箇所から池島地区を除外している理由について慎重に審査した結果、異議なく原案を可決しました。

#### 建設水道委員会

長崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、合併に伴い、琴海町の水道料金について期間を定めて負担軽減のための特別措置を講じるとともに、その他必要な経過措置を講じようとするものです。

委員会では、条例改正の内容について慎重に審査しました。

その結果、水道料金については、激変緩和措置が取られるものの、本市と料金を統一することにより、住民の負担増が生じることから、このような措置は認めることができないとの反対意見が出されましたが、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

#### 地域振興特別委員会

委員会では、平成16年度の香焼町、伊王島町、高島町、野母崎町、外海町、三和町の一般会計決算議案について審査を行い、異議なく原案を可決しました。

#### 議員提出議案

9月定例会で、議員提出議案の意

見書3件及び決議1件を可決し、意見書及び決議については、直ちに政府など関係行政庁及び国会に提出しました。

#### 意見書

自治体病院の医師確保対策を求める意見書について  
道路特定財源制度の堅持に関する意見書について  
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について

#### 請願

9月定例会中に審議した請願は、次のとおりです。  
(平成16年請願第7号)義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願(撤回)  
被爆体験者支援事業の改善を求める請願(採択)  
最低保障年金制度の創設を求める請願(不採択)  
義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願(採択)

#### 人事

9月定例会で、次の人事案件について同意することに決定しました。  
教育委員会委員  
富田 忠 溥 氏(再任)  
固定資産評価審査委員会委員  
浦川 一 孝 氏(再任)  
人権擁護委員  
小 岱 メグミ 氏(再任)